紫 会 紫 会图書館へいこう!紫 会 紫 会

第166回直木賞芥川賞受賞作入荷!

<直木賞受賞>

『寒王の楯』

今村 翔吾/著



決して破られない石垣を造ろうとする石工。立ちふさがるのは、どんな守りも打ち破るという鉄砲職人。大津城を舞台に、信念をかけた職人の対決が幕を開ける。

こくろうじょう 黒牢城』

米澤 穂信/著



織田信長に叛旗を翻して有岡城 に立て籠もった荒木村重は難事件に翻弄される。村重は、土牢 の囚人にして織田方の軍師・黒田 官兵衛に謎を解くよう求めた。 事件の裏には何が潜むのか-。

<芥川賞受賞>

『ブラックボックス』

砂川 文次/著



ずっと遠くに行きたかった。今 も行きたいと思っている。自分 の中の怒りの暴発を、なぜ止め られないのだろう。自転車便の メッセンジャー、サクマは都内 を今日もひた走る。



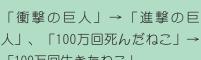
今月のBEST本

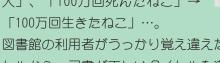
(12月の貸出回数上位本)

100万回死んだねこ

『100万回死んだねこ

覚え違いタイトル集 』 福井県立図書館/編著





図書館の利用者がうっかり覚え違えた本のタイトルから、司書が正しいタイトルを導き出した事例集。本の情報、司書の仕事も紹介。

話題の新着本



『母の待つ里』 浅田 次郎/著

家庭も故郷もない還暦世代の3人の男女の元に舞い込んだ〈理想のふるさと〉への招待。奇妙だけれど魅力的な誘いに半信半疑で向かった先には、かけがえのない〈母〉との出会いが待っていて…。



『 少女を埋める 』 桜庭 一樹 / 著

一因習的な故郷に、男性社会からのいわれなき侮蔑に、「わたし」はいつも正論を命綱に生き延びてきた。理不尽で旧弊的な価値観に抗って生きる者に寄り添う、自伝的小説集。



『 サンセット・サンライズ 』

楡 周平/著

大手電気機器メーカーに勤務する西尾晋 作は、海釣りが大好き。コロナ禍で業務 がテレワーク化されることを機に、海に 近い田舎で「お試し移住」を始め…。



『奔流の海』 伊岡瞬/著

海辺の町を訪れたひとりの大学生。彼は 夜な夜な街中を徘徊し、不審の目を向け られる。20年前に町を襲った豪雨、事故 死した父、すべてがひとつに繋がるとき …。青春ミステリー。



『その日まで』 瀬戸内 寂聴/著

百歳近く生きつづけて、最も大切なことは、自分の生きざまの終わりを見とどけることだけであった-。切に愛し、いのちを燃やし、ペン一筋に生き抜いた瀬戸内寂聴99歳、最期の長篇エッセイ。



『六つの村を越えて髭を

なびかせる者』 西條 奈加/著

江戸中期、蝦夷地見分隊に随行した最上 徳内。雄大で厳しい自然の中で、アイヌ の少年や長たちと交流する徳内は、アイ ヌを虐げ、搾取する松前藩に怒りを覚え …。歴史長編。



